



平成26年1月31日(金)

平成25年度中間期ディスクロージャー誌の作成について

- 平成25年度中間期における経営状況などを掲載したディスクロージャー誌を作成いたしました。
- 本ディスクロージャー誌は、当社全営業部に備え置くほか、当社ホームページにて電子ブックでご覧いただけます。

株式会社トマト銀行(取締役社長 中川 隆進)は、このたび当社に対するご理解を深めていただけるよう、平成25年度中間期における経営状況などを掲載したディスクロージャー誌を作成いたしましたので、お知らせいたします。

このたび中間期のディスクロージャー誌としては初めて、中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取り組みの状況を掲載しております。

本誌は、銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー誌(業務及び財産の状況に関する説明書)であり、当社全営業部の店頭にて備え置くほか、当社ホームページ(<http://www.tomatobank.co.jp/>)にて電子ブックでご覧いただけます。

記

1 主な内容

銀行法に基づく開示項目を中心に、平成25年度中間期における業績の推移、財務諸表、自己資本、不良債権、預金、貸出、有価証券の状況、および中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取り組みの状況などを記載しております。

2 仕様

A4版 全43ページ

3 開示時期

平成26年1月31日(金)以降にご覧いただけます。

4 その他

本ディスクロージャー誌につきましては、銀行法改正(平成18年5月施行)により認められました電磁的記録(※)による開示としており、冊子の配布は行っておりません。

※電磁的記録: CD-Rやサーバー上のハードディスクなどの媒体に保存したデータのことを言います。

以上